



エコマークはなぜついているの

環境にやさしくするために

エコマークは、環境を守るのに役立つと認められる商品につけられています。環境にやさしくありたいと願う人々に、そういう商品を選んでもらうことを目的としているのです。

エコマークをつけることができる基準は、商品の種類ごとに決められています。ほかの同じ種類の製品と比べて、環境への影響が少ないものにだけ、エコマークがつけられるようになっています。

また、その製品を作るとき、使うとき、捨てるときなど、すべてにおいて、環境にやさしいかどうか、エコマークをつける基準に考えられています。

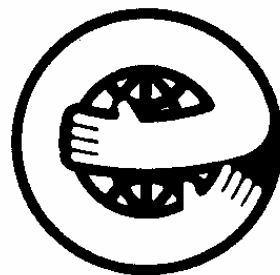
現在、古紙を使用した紙製品や、使い古したプラスチックの再生品などの商品について、約2000製品にエコマークがつけられています。

エコマーク事業は、環境庁の指導のもと、財団法人日本環境協会が行っています。

紙の大切さを知ってもらうためのグリーンマーク

グリーンマークは、古紙を使った製品を利用してもらうことにより、紙の大切さを知ってもらうことを目的としています。

グリーンマークを集めた学校や町内会などになえ木などを送り、緑を増やし、森林保護の意識を高めてもらうことをねらっているのです。(監修・青木 国夫)



エコマーク



グリーンマーク

